

飛躍の一年に向け意思統一



No. 2669
2014年1月31日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌

新年特集号

活動家交流集会を開催



東日本武笠調査部長

地方本部は1月5日、仙台市内アエルにおいて「2014年春闘勝利活動家交流集会」を開催した。会議には各支部と分会代表が参加し、賃金闘争をはじめ労働条件改善や組織問題など様々な角度から活発な意見交換を行い、今年1年の闘いを全体で確認した。

一歩ずつ前進 できるように

地本大沼委員長は、「14年春闘の課題。アベノミクス↓円安・株高↓輸出企業の業績回復↓政労使会議で賃上げを確認しているが、このままでは労働組合の存在価値が問われる。②人権と団結権の危機。自

職場の闘いで大幅賃上げを

●安倍自民党政権の危険な暴走と脆さと矛盾。①自公政権は衆参両院で多数を握り、内閣支持率も比較的高いが地方（北海道、福島、沖縄）では不支持が勝る。国会と国民の力関係は違っている。

②政治的な基盤は極めて脆く、深刻な矛盾を孕む。●JR内の情勢。①JR北海道では一連の事故

②JR東日本内の労組の動き。昨年末にJRユニオンとJR

労組の組織統合。しかしグリーンユニオンが活発な地域では話し合いが進んでいない。我々の組織固めと同時に国労加入の呼びかけを。

③業務委託先会社との労働条件に関する協約改

1. 5
1. 14
1. 18-19
春闘勝利活動家交流集会
第4回地方執行委員会
地本組織対策会議

1. 25
1. 24
1. 23
第2回春闘事務局会議
地方代表者会議
国労本部第184回中央委員会

る大衆行動を強化する方針が必要。困難だが、将来に向け課題で全労働者が共闘できる環境を作らなければ。③労働条件改善・安全安定輸送確立等の運動課題の改善に向け一歩ずつ前進が図られるよう共に頑張ろう。」とあいさつ。

職場からの報告

●山形県支部
山形連合長谷川分会長

行委員が「14年春闘情勢と私たちの課題」と題した講演を行なった。要旨別掲。

▼組織状況。年末にかけ異動あり。愛子駅↓さくらんぼ東根、さくらんぼ東根↓新庄駅、仙台信通技セ↓山形信号メセ（土技セ山形派出↓仙台北技セ）。▼12月29日つばさ踏切人身事故を受け、12月31日21時30分から翌1日5時30分までの臨時交番検査の命令。人使いが荒い。

▼仙総支部高橋書記長
●検修合理化。会社は準備不足のまま実施強行。結果3年の出向が6ヶ月で終了する等組合間わず怒りと疑問が。ただ残留希望の組合員が残れたのは会社の変化か。

▼新庄で組織拡大。岸氏が昨年10月17日に加入。現在新庄運転区の事務職。55歳で退職を考え、最後は国労へ加入を決意した。話し合う中で、退職せずに定年まで頑張ることに。職場には岸氏のように「最後は国

▼14春闘。支部業務部長会議で一人一要求と若手の意見も聞取り現場長交渉と団交に反映しようとして提起。具体的行動提起は支部闘争

条件締結を目指す職場を交渉単位としていく。④懸案事項解消の取組み。和解の趣旨が浸透していない部分もあり、早期解消を求めて行く。

●14年春闘の課題。①中央委員会の議論を経て賃上げ要求額が決定。生要求は5万8千15円。職場で何が出来るのか一人一要求、職場要求を。また現場管理者に要求の理解を得る。声なき声。パートナー会社のプロパー社員の意見を要求化していく。

⑤組織強化・拡大。闘争指令1号の拡大目標の達成。⑥政治課題（原発・TPP・平和と民主主義他）でも積極的に地域に関わり国労の旗を高く掲げよう。

●まとめ
①楽天安ファン。かつて近鉄と阪急を統一し、一球団を減らす動きがあり楽天はプロ野球労組がストをして出た球団。闘って球団が残ったし今の楽天がある。

②自らの労働条件は自らの努力と闘いで切り開く。

▼東北交通機械へ作業環境

①年末手当、東の3・11と貨物の1・3をどう見るか。国労要求は3・5。要求に執念を。

▼熱心にメモを取り講師に質問をする若手。

③地域での共闘の先頭に。④組織拡大の取組み。

▼東北交通機械へ作業環境

②労働条件に関する協約改

▼東北交通機械へ作業環境

③地域での共闘の先頭に。

▼東北交通機械へ作業環境

④組織拡大の取組み。

▼東北交通機械へ作業環境

